



Atto

低圧設備から高圧設備まで
フルレンジで利用可能なLTE搭載ゲートウェイ



Attoは、データ収集と演算の能力を備えたスマートゲートウェイです。
Wi-SUNで低圧スマートメーターからデータ収集し、RS-485ポートと2つのUSBポート
を活用することで、高圧スマートメーターやModbusデバイスとの接続が可能です。
内蔵nano SIMカードによりキャリア回線でクラウドにデータをアップロードすることで、
データ送信の信頼性と安定性を強化しました。

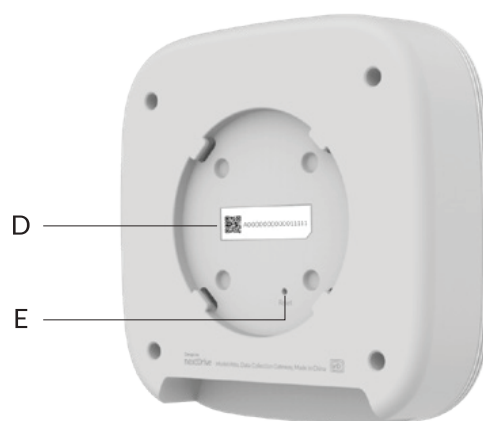
Attoを設置することで、低圧設備から高圧設備まで、すべてのエネルギー設備を同一
のプラットフォームで管理可能です。

Highlights

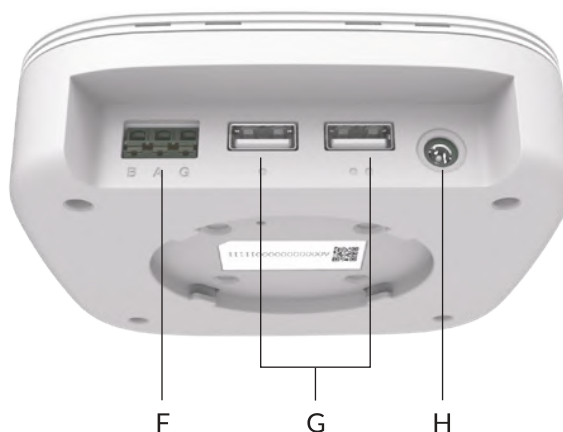
- 4G/LTE通信モジュール
- RS-485接続
- 高圧／低圧スマートメーター対応
- ECHONET Lite機器との連携

製品の外観と構造

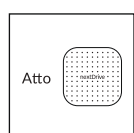
取り付けに便利な壁掛けタイプのデータ収集ゲートウェイ



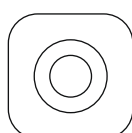
- A. 電源動作ランプ
- B. Wi-SUN動作ランプ
- C. LTE動作ランプ
- D. Atto IDシール
- E. Resetボタン
- F. RS-485ポート
- G. USBポート
- H. 電源コネクタ



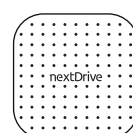
内容物



取扱説明書
x1



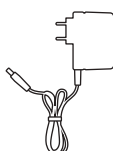
壁掛け用ベース
x1



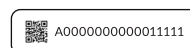
Atto
x1



ねじ
x4

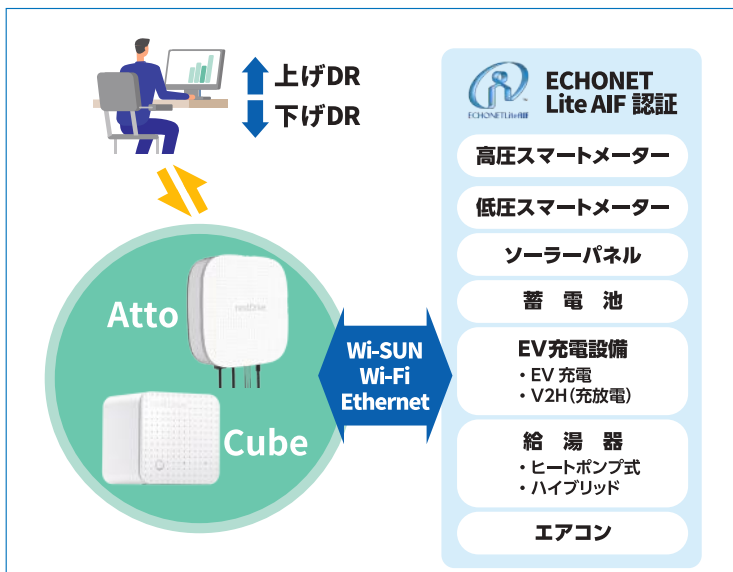


ACアダプタ
x1



Atto IDシール
x1

利用事例



VPPなど信頼性が求められるEMSサービス

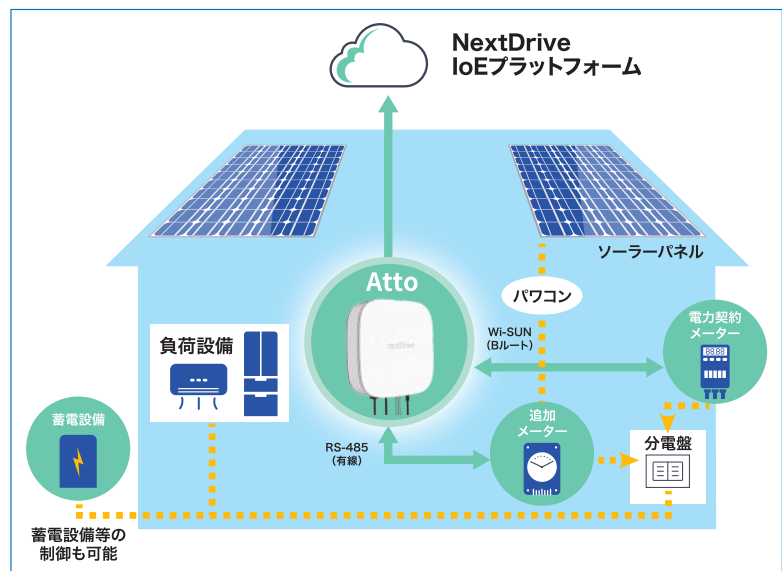
需給状況に応じたディマンド・リスポンスや調整力の提供など、機器制御に高い信頼性が求められるシーンでは、LTE搭載のゲートウェイである点が評価され、Attoが活用されています。

「令和4年度分散型エネルギーリソースのさらなる活用に向けた実証事業」でもリソースアグリゲーション用途のEMSサービスとして採用されています。

計量用メーターと接続した課金請求システム

太陽光PPA事業での自家消費量にもとづく課金や電気自動車 (EV) の充電量にもとづく従量課金など、検定付き子メーターを利用した課金請求システムにおいて、東光東芝メーターシステムズ、大崎電気工業の子メーターと接続可能なAttoが活用されています。

既に全国の250を超える拠点で日々の計量データを安定的に取得しています。



企業・法人の高圧設備のエネルギーマネジメント

企業・法人の脱炭素に向けた取り組みが広がるなか、自家発電設備や蓄電池、双方向EV充電器、負荷設備などのデータを統合的に取得し、エネルギー利用の効率化に取り組むニーズが高まっています。

Attoを導入すると、簡単な設定だけで、低圧設備から高圧設備まで単一の仕組みで管理が可能となります。

エネルギーの可視化、最適化で企業の脱炭素の取り組みを後押しします。

製品仕様

Atto

CPU	Quad-core Cortex-A7 (Rockchip RK3128)
メインメモリ	1GB
フラッシュメモリ	16GB
Wi-SUN	Rohm BP35C0
Wi-Fi	802.11a/b/g/n/ac
Bluetooth	BLE 4.2
LTE	CAT4
SIM カード	Nano Sim
入出力ポート	1.RS-485 ポート×1 2.USB 2.0 Type A ポート×2 3.電源コネクタ
LED ランプ	2色×3灯
動作温度	-10°C~60°C
保存温度	-30°C~70°C
保存湿度	10%~90%(ただし、結露なきこと)
製品認証	ECHONET Lite AIF / Telec / VCCI Class B
サイズ(壁掛け用ベースを含む)	121.48 × 121.22 × 38.6mm
製品重量	217g
電圧	DC 5V(±5%)
最大消費電力	最大14.2W

AC アダプタ

入力電圧	AC 100V~240V, 50/60 Hz
出力電圧	DC 5V (+-5%)
最大出力電流	3A

接続可能機器



API利用のご案内



EMSアプリのご案内

